

【第6学年国語】

目的や意図に応じて情報を収集し、整理・分類しながら、自分の立場を明確にして、説得力のある文章を書く

1 指導計画

1時間目	資料を基に外来種や在来種について調べながら、書かれた情報を読み取り、自分の立場を明確にする。
2時間目	説得力のある意見文を書くために、例文を比較しながら数値や言葉の引用のよさに気付き、構成メモを作る。
3時間目	例文をもとに文の構成について考え、構成メモをもとに意見文を書く。

2 指導のポイント

この問題は、外来種の駆除か、在来種の保護か、資料を基にしながら自分の立場を明確にし、説得力のある意見文を書くものである。ここでは、情報を収集する力、解釈する力、整理・分類する力、根拠を明確にしながら書く力が必要である。そこで、それらの力を付けるために、書き方の例を挙げ、比較させながら、段階的に書き方を学ばせ、指導に当たる。

- 1時間目 環境保護レンジャーの石川さんへのインタビューをもとに、外来種が日本に入ってきた理由や引き起こす問題についてまとめていく。また、資料1や資料2から分かることを少人数のグループで話し合い、資料を読み取っていく。そして、外来種の駆除か、在来種の保護か、自分の意見を作り上げていく。
- 2時間目 二つの意見文を比較することで、「数値」や「資料からの言葉の引用」がある方が、より説得力があることに気付く。また、自分が用いたい資料から「数値」を抜き出したり、「言葉の引用」をしたりしながら、構成メモを作る。
- 3時間目 例文に書かれた「数値」や「資料からの言葉の引用」を確認する。また、どんな立場で書かれた例文か、用いている資料は何かを考える。それらを活用しながら、条件に沿って意見文を書く。最後に、条件のもと書かれている意見文であるかを、推敲する。

3 各時間の指導

(1) 資料を基に外来種や在来種について調べながら、書かれた情報を読み取り、自分の立場を明確にする。

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>T 山本さんの学校にあるビオトープに生息している「クロメダカ」は在来種で、外来種との混血が進み、絶滅危惧種に指定されているそうです。そこで、外来種について調べました。 外来種について、どんなことが分かったか、資料を基に考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在来種や外来種、絶滅危惧種、混血等の言葉の意味を確認させる。 ・外来種について、資料をもとに考えるという本時の課題を確認させる。 ・インタビュー資料を基に、ワークシートの表に書き込みをしながら、外来種についてまとめさせる。
<p>資料（インタビュー）を読み取る</p> <p>T 外来種について、インタビューを基にまとめましょう。 ・表にまとめよう。</p> <p>T まとめて、分かったことや思ったことは何ですか。 ・外来種が多くて、びっくりした。 ・楽しむためやペットとして日本に入ってきたものが多い。 ・外来種は、在来種を絶滅させる。 ・人間がペットとして日本に持ち込んだのに捨てるのはおかしい。</p>	

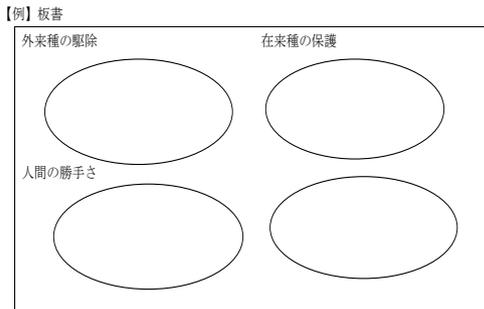
オオギク	ミドリガメ	カミツキ	ハナバチ	セイヨウオオマルバチ	マライグサ	ブラックバス	動物名
見て楽しむ	ペットとし	ペットとし	させため	人の手を使わず、花粉	ペットとし飼うため	つりを楽しむため	入ってきた理由
を絶滅させた	野生化	川岸が立ち入り禁止になる	ど人をおそうほ	は住みかを失われ、追いは	マルハナバチ	農作物を食べる	外来種が引き起こす問題

T 山本さんは、外来種による問題やそれに対する取組をもっと知りたいと思い、調べました。

資料（資料1・2）を読み取る

T 資料1や2からどんなことが分かりますか。

- ・年々、外来種が多くなってきている。（資料ア）
- ・駆除したあとは、在来種が増えた。（イ）
- ・捕獲した後は被害が少なくなった。（カ）
- ・人間の勝手に、外来種が増えてしまった。（エ）
- ・在来種が減ったのは、外来種だけが原因ではない。（キ）
- ・在来種のために池を作ったり、外来種が増えないようにしたりしている。（オ）



自分の立場を考える

T 在来種を守るために「外来種を駆除する」立場と「在来種を保護する」立場があります。あなたならどの立場に立つか、資料をもとにしながら考えましょう。どの資料を基にするか、【資料1】から一つ、【資料2】から一つ資料を選びましょう。

- ・私は、資料イや資料カから、「外来種を駆除するべき」という立場に立つ。

- ・ここでは、外来種が引き起こす問題だけでなく、人間の勝手さが引き起こしている現状にも気付かせたい。そのために、思ったことも発表させる。
- ・資料1や2から分かることを発表させる。
- ・「外来種の駆除」「在来種の保護」「人間の勝手さ」など、児童から出たことをもとにいくつかの categories に分けながら、板書していく。
- ・どの資料を基にしたかを明確にさせる。
- ・資料1や2は児童に配布する以外に、教室にも掲示し、全体で確認できるようにする。

【構成メモ】

終わり	中		始め	の 立 場
④	③ 資 料	② 資 料 メ モ	① 立 場	

- ・構成メモに立場や選んだ資料の記号を書かせる。また、どうしてその立場を選ぼうと思ったかも考えさせる。
- 資料を読み取り、資料を基に自分の立場を明確にすることができたか。

(2) 例文を比較しながら数値や言葉の引用のよさに気付き、構成メモを作る。

主な学習活動と教師の働きかけ

課題を把握する

T 前時では、資料を基に外来種の問題を調べ、「外来種を駆除する」立場、「在来種を保護する」立場のどちらに立つかを考えました。その意見を意見文に書き、地域の方々に、発表することになりました。

発表するために、意見文を書きます。

発表するための説得力のある意見文について考える

T 発表するのですから、自分の意見をよりよく伝えなくてはなりません。そこで、説得力のある意見文にしたいと思います。ここに【資料1】を基にしたAとBの意見文があります。どちらがより説得力があるでしょうか。

・留意点 □評価

- ・前時で作成した構成メモを振り返らせながら、自分の立場や基にした資料を想起させる。
- ・実際に発表する場を設定する。
- ・発表の場を設定することで、目的意識をもたせ、説得力のある意見文を書こうという意欲付けを図る。
- ・「説得力」の意味を確認する。

《外来種を駆除する立場》

B 資料イによると、伊吹山頂周辺のタンポポを調査した結果、二〇〇七年には在来種が六・三パーセントだったのが、二〇一〇には、二・六パーセントに減っていることが分かりました。しかし、外来種を駆除したところ、次の年には六・九パーセントに在来種が増えたことが分かりました。だから、外来種を駆除することで、在来種が増えると考えます。

A 資料イによると、伊吹山頂周辺のタンポポを調査した結果、だんだん在来種が、へつてきていることが分かりました。しかし、ある時、外来種を駆除したところ、在来種が少し増えたことが分かりました。外来種を駆除すると、在来種が少し増えたことが分かりました。

・ AとBを比較させながら考えさせ、数値に気付かせる。

- ・ Bは、具体的に数値が書かれているので分かりやすいから、Bがより説得力がある。
- ・ Aの「少し」は、どのくらいなのか、分かりにくいので、Bの方が、説得力がある。
- ・ Bは、数値をもとに自分の考えが書かれているが、Aは分かったことばかりが書かれている。

- ・ 話し合いの中で、数値や数値を根拠に自分の考えを述べていることを押さえる。
- ・ 自分の考えが書かれていることに気付かない場合は指導者から話題を提供し考えさせる。

T 説得力がある意見文を書くには、数値を入れるとよいことやそれをもとに自分の考えを書くとよいことが分かりました。

T 次に、【資料2】をもとにしたAとBの意見文があります。どちらがより説得力があるでしょうか。

- ・ 言葉の引用の方法についても指導する。
- ・ AとBを比較させながら考えさせ、言葉の引用に気付かせる。

《在来種を保護する立場》

B 資料クによると、外来種から在来種を守るために、小笠原諸島ではくつの底の土やバックのポケット、衣類に植物の種がついているかどうかを確認してから上陸させているそうです。だから、外来種を持ち込まないことで、在来種を保護していると考えます。

A 資料クによると、外来種から在来種を守るために、小笠原諸島では、いろいろな工夫をしていますが、工夫していることが分かりません。在来種を保護しているの、すごいと思います。

- ・ Bは、資料クに書かれていることが書いてあるが、Aは、いろいろな工夫と書いてあって、分かりにくい。
- ・ Bは、「～だそうです。」と、書いてあり、資料を見たことが分かる。
- ・ Bは、「だから、～考えます」と自分の考えが書かれている。

- ・ 話し合いの中で、自分の考えを述べていることを押さえる。

【構成メモ】例

資料イ
二〇一〇年に駆除
在来種は二・六から六・九に
増えた。
駆除をするとよいと思う。

資料オ
全国ですでに四〇か所近く在
来種を保護するトンポ池が整備
二十二種類のトンポが飛来
生息できる環境を作るとよい
と思う。

T 資料に書かれた文を書くことを「引用」と言います。説得力がある意見文を書くには、資料の言葉を引用し、それに基づいて自分の考えを書くとよいことが分かりました。

□例文を比較しながら数値や言葉の引用のよさに気づき、構成メモを作ることができたか。

構成メモを作成する

T 資料1や2から、どんな数値が読み取れるか、また資料2からどんな言葉が引用できるか、構成メモに書きましょう。

- ・ 構成メモを作る。

(3) 例文をもとに文の構成について考え、構成メモを基に意見文を書く。

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>T 前時では、意見文を書くときに数値や言葉を引用したら、より説得力のある意見文が書けるということを学習し、構成メモを作りました。今日は、構成メモをもとに、意見文を書きます。</p> <p>文の構成について考える</p> <p>T ここに、Cさんの書いた意見文があります。前時で学習した数値や引用があるか確認しましょう。</p> <p>T Cさんの立場はどちらですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作った構成メモを振り返らせ、前時の学習を想起させる。 ・例文をもとに、説得力のある意見文について振り返らせる。 ・文の構成について考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わたしは、在来種を保護すべきだと考えます。</p> <p>資料アによると、横浜市の水生生物の中で外来種のしめる割合は年々増加していて、二〇一一年には、十四パーセントになっています。外来種のしめる割合が増えているということは、在来種のしめる割合が減っているということです。このままでは、外来種が増え、在来種が減っていきます。ですから、外来種から在来種を守っていかなくてはなりません。</p> <p>資料クによると、小笠原諸島では、くつの底の土やバックのポケット、衣類に植物の種がついているかどうか、確認して上陸させているそうです。外来種を持ちこまないことが、在来種を外来種から守ることにつながると考えます。</p> <p>このように、外来種を日本に持ち込ませないことで、在来種を保護していくべきだと考えます。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・在来種を保護する立場。 <p>T Cさんが用いた資料は何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料アやク <p>T 数値や言葉の引用、それらを根拠とした自分の考えが書かれた箇所を探しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「十四パーセント」と数値が書かれている。 ・「～そうです」と引用されている。 ・「在来種を守っていかなくてはなりません」「守ることにつながります」等、自分の考えが書かれている。 	
<p>意見文を書く</p> <p>T 構成メモを基に意見文を書きましょう。その際に、次の条件で書きます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字数 ・資料の記号を入れること ・四つの段落で書くこと ・数値を入れること ・資料の言葉を引用すること ・中の資料につなげて「終わり」の段落に自分の考えを書くこと </div> <p>T 意見文を書いたら、条件に合っているかを読み直しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Cさんの意見文を例に挙げながら、条件を確認する。 ・例文を用いて条件を確認することで、意見文の書き方を理解させる。 ・書く条件をもとに推敲させる。 ・発展的に、発表の場を設定し、地域の方と意見交換の場を設定する。 <p>□例文から、文の構成に気付き、構成メモを基に、文章を書くことができたか。</p>